

単元名：

「固有種が教えてくれること」

(全 6 時間扱い中 第 3 時)

授業日時 2021 年 10 月 15 日 (金) 第 3 校時

授業学級 5 年 1 組

授業会場 5 年 1 組教室

授 業 者

指 導 者

(1) 主眼 (授業の手立て & ねらい)

固有種を含めた動植物を大切にすることの意味を自分なりに解釈し始めた子ども達が、p145 の「固有種がすむ日本の環境をできる限り残していかなければならない」という叙述を読み、固有種の生息する環境とはどういう環境なのかについて考える場面で、日本の固有種や生息する環境について調べることを通して、固有種を守ることはその環境を守ることと繋がることに気づき、固有種を大切にすることの意味を自分なりにまとめることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導 入	1. 前時の振り返り	・固有種大事～。 ・固有種も数減らすために殺さなければならぬ。 ・人間がいけないんだよ。	森下先生の授業で出た意見について、 ・固有種もちろん守っていかなければならないが、それは固有種に限らず、他の動植物にも言える。 子どもが授業で言ったものを確認。 そこで今日は教科書の在る部分に着目したいと思います。 ・ p145 14 から最後まで範読する。	5 分
	2. 固有種の生きている日本の環境を考える。	・ こんなにいるの！？ ・ 山とか森。 ・ 綺麗な海。 ・ え～。アオダイショウも固有種なの？ ・ シシャモ！？ ・ 他にどんな固有種がいるのかな？	「わたしたちは、固有種がすむ日本の環境をできる限り残していかなければ成りません。」 ここで、みんなに聞きたいことがあるんだけど、『固有種がすむ日本の環境って、どんなところなのかな？』 〈予想〉を立てる。 固有種のリストを挙げる。 例えば、ニホンカモシカ、アオダイショウ、シシャモ、ニホンザル →これらの写真を挙げる。 ※これらは日本の固有種だと確認。	5 分

展開		・どんなところに住んでいるのかな？調べたい！	では、今から、 「例に挙げた固有種はどんなところで生息しているのか。」 調べてみよう！	
	【学習課題】日本の固有種や生息する環境について調べる			
	3. 個々に環境保全を目指すか	〈ニホンカモシカ〉 ・山地丘陵地帯に生息しているのか！ ・岩場・急斜面のある森林。 〈シシャモ〉 ・北海道の太平洋岸にのみ生息	個人で先の固有種または、自分で固有種を調べ、その生息環境を調べる。 ※クロムブックで調べる。	20分
終末	4. 数人グループで出た意見の発表	・私は、アオダイショウの生息環境について調べてきたよ。 ・僕は、ニホンモモンガの生息環境について調べてみた。	自身で調べた、どの固有種の生息環境を調べたのか友達と共有してみよう。 どんなところを固有種の生息環境として守っていかなければならないかな？	7分
	6. 振り返り		それでは、今日調べた固有種の生息環境についてまとめ、どういう環境を守ることが固有種を大切にすることに繋がるのか自分の考えを言葉でまとめてみよう。	8分
【本時の評価（評価する対象）】 固有種を大切にすることを自分なりにまとめることができる。（振り返りノート）				